PRESS RELEASE　報道機関配布資料　高崎市 TAKASAKI CITY

令和８年１０月１６日

件名　郵便馬車から新幹線へ、鉄道と高崎の 150 年
　　企画展「馬から始まる高崎の鉄道ものがたり」の開催について

１開催期間
・令和８年 10 月 20 日（火）～令和８年 12 月 20 日（日）午前９時～午後４時
・休館日　　月曜日、祝日の翌日
　　11 月３日（火）文化の日は開館、翌４日（水）休館
　　11 月 23 日（月）勤労感謝の日は開館、翌 24 日（火）休館
・入館料　　無料

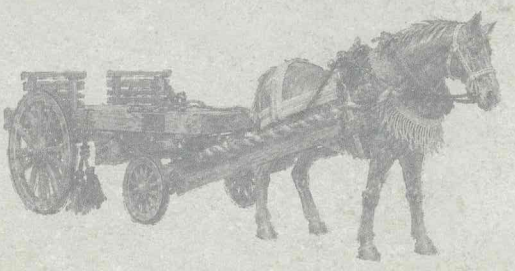
２会　場
高崎市歴史民俗資料館　企画展示室
（高崎市上滝町 1058 番地）

３展示資料
当館所蔵の鉄道資料等

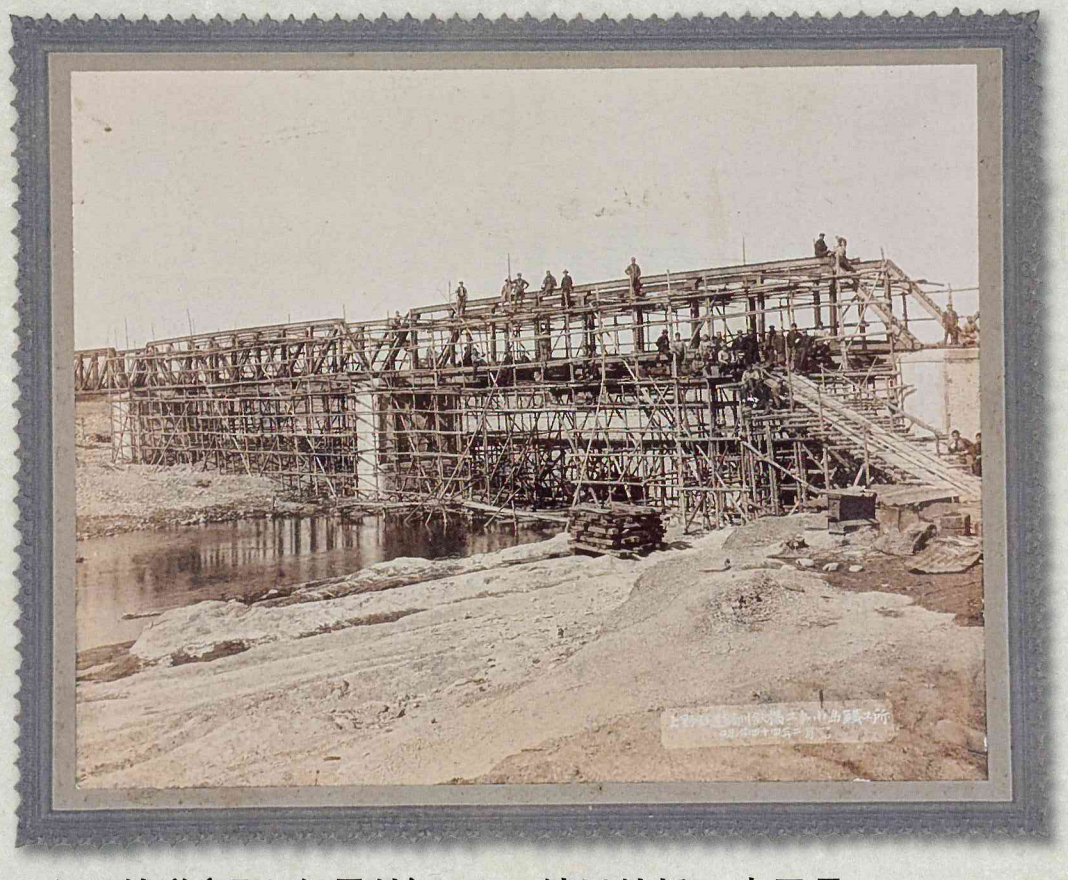
４内　容
江戸から明治へ、移動手段が徒歩・馬から高速・大量輸送を可能とする鉄道の時代を迎えても、高崎の地勢的位置づけは変わらず、交通の要衝として発展し続けました。
企画展「馬から始まる高崎の鉄道ものがたり」では、高崎における近代鉄道の先駆けとなった明治５年（1872）の郵便馬車から現代の新幹線に至るまで、150 年に渡る鉄道の発展と共に歩んだ高崎の歴史を振り返ります。

【本件に関する問い合わせ】
教育部文化財保護課歴史民俗資料館
電話：027-352-1261

高崎市歴史民俗資料館　令和８年度 企画展



馬から始まる 高崎の鉄道ものがたり



上野鉄道（現上信電鉄）による鏑川鉄橋工事風景（明治 44 年）

令和８年 10/20（火）

▶▶▶▶▶ 12/20（日）

開館時間：午前９時～午後４時

休館日：月曜日、祝日の翌日

入館無料

明治初期、政府による鉄道構想が難航するなか、高崎の近代交通は明治5年（1872）の郵便馬車から始まりました。明治17年（1884）に高崎線が全線開通し、その後、高崎駅に信越本線、上越線が乗り入れ、上越・信越方面の分岐点としての機能を果たしてきました。また、昭和57年（1982）に上越新幹線、平成9年（1997）に長野新幹線が開業し、平成27年（2015）には金沢まで延伸され北陸新幹線となり、高崎市は北陸・上信越を結ぶ中心都市としてその存在感を高めてきました。

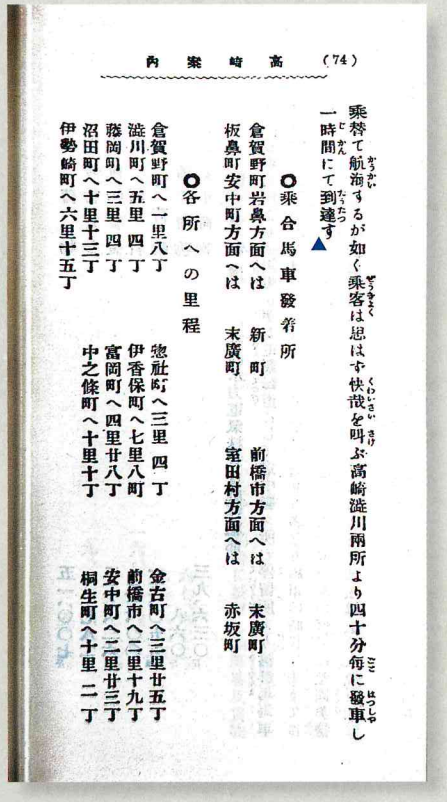
更に、「豊岡だるま駅」（下豊岡町）の開業を控えるなど、高崎を取り巻く鉄道網が今後も大きく発展していくことが予想されます。

本展では、高崎の鉄道と沿線の歩みを紹介し、交通の要衝として歩んできた街の歴史を振り返ります。

高崎案内

（明治43年）





（74）　高崎案内

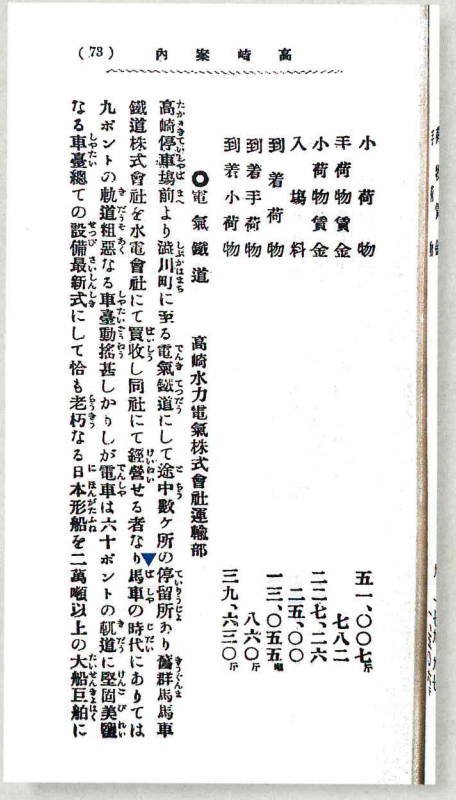
乗替て航海するが如く乗客は思はず快哉を叫ぶ高崎澁川兩所より四十分毎に發車し一時間にて到達す

○乘合馬車發着所

倉賀野町岩鼻方面へは　新町　前橋市方面へは　末廣町
板鼻町安中町方面へは　末廣町　宿田村方面へは　赤坂町

○各所への里程

倉賀野町へ一里八丁　惣社町へ三里四丁　金古町へ三里廿五丁
澁川町へ五里四丁　伊香保町へ七里八町　前橋市へ二里十九丁
藤岡町へ三里四丁　富岡町へ四里廿八丁　安中町へ二里廿三丁
沼田町へ十里十三丁　中之條町へ十里十丁　桐生町へ十里二丁
伊勢崎町へ六里十五丁



（73）　高崎案内

小荷物
手荷物賃金　五一、〇〇七斤
小荷物賃金　七八二
入場料　二二七、二六
到着荷物　二五、〇〇
到着手荷物　一三、〇五五噸
到着小荷物　八六〇斤
　三九、六三〇斤

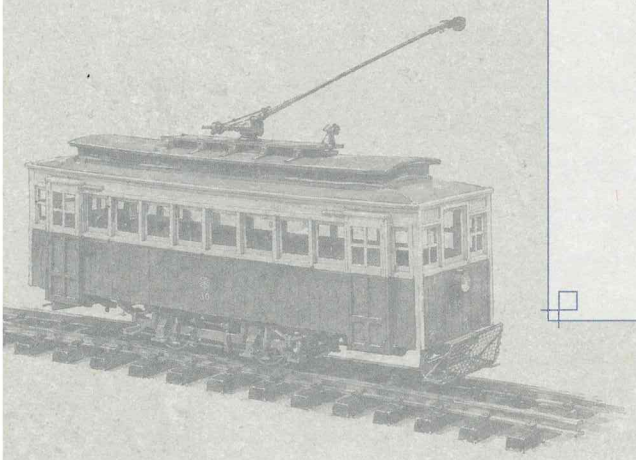
○電氣鐵道　高崎水力電氣株式會社運輸部

高崎停車場前より澁川町に至る電氣鐵道にして途中數ケ所の停留所あり馬車鐵道株式會社を水電會社にて買收し同社にて經營せる者なり馬車の時代にありては九ポントの軌道粗惡なる車臺動搖甚しかりしが電車は六十ポントの軌道に堅固美麗なる車臺總ての設備最新式にして恰も老朽なる日本形船を二萬噸以上の大船巨船に

○電気鉄道　高崎水力電気株式会社運輸部

「馬車の時代にありては九ポンドの軌道粗悪なる車台動揺甚しかりしが電車は六十ポンドの軌道に堅固美麗なる車台総ての設備最新式にして恰も老朽なる日本形船を二萬噸以上の大船巨船に乗替て航海するが如く乗客は思はず快哉を叫ぶ高崎渋川両所より四十分毎に発車し一時間にて到達す」

馬車鉄道の時代は、9ポンドの細いレールで線路の状態も悪く、車体の揺れも大変激しかったが、電車になってからは、60ポンドの頑丈なレールになり、車体も堅固で美しく、すべての設備が最新式になった。まるで、老朽化した木造船から2万トン以上の大型客船に乗り換えて航海に出ていくかのようで、乗客は思わず喜びの声をあげた。高崎と渋川の両方から40分ごとに発車し、わずか1時間で到達する。



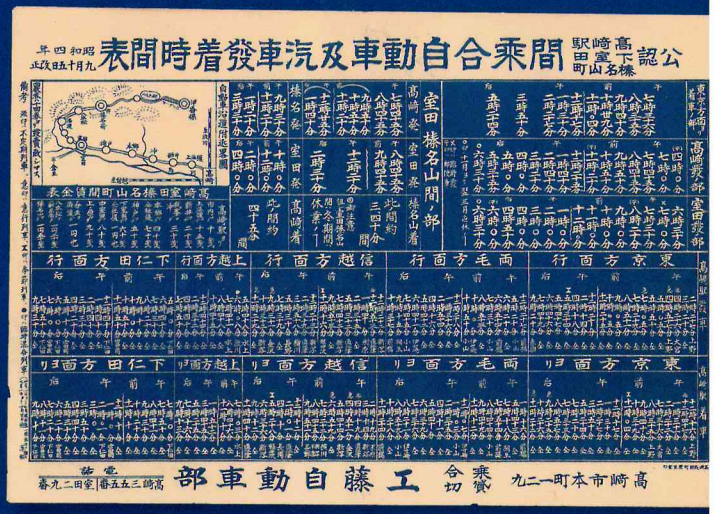
高崎駅開業60年祝賀記念絵葉書

（昭和 18 年）









時　刻　表（昭和４年）



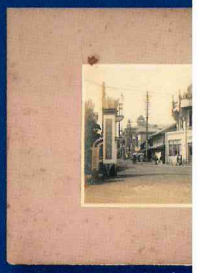
伊香保電車模型



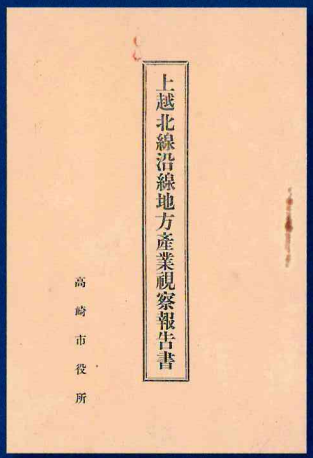
荷馬車



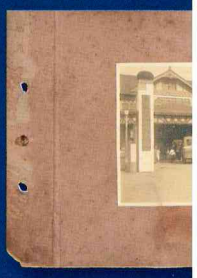
手拭い EF551



上越全線開通記念　市公



上越北線沿線地方産業視察報告書（昭和６年）



上越全線開通記念　高崎






電池式携帯電話機



ランプ



日本国有鉄道標識



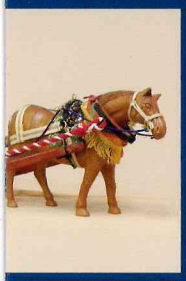
単線用タブレットのキャリア（ケース）



車掌用バッグ



明治100年人形 明治5年新橋ー横浜鉄道開通



模型



車内補充券用の鋏



懐中時計と電圧計



明治100年人形 明治18年上野ー浦和鉄道開通

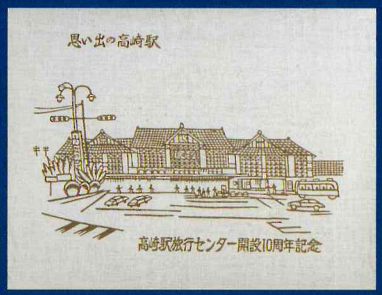


堂前アーチ（昭和９年）





駅乗車口標識



手拭い 高崎駅旅行センター開設10周年記念



明治100年人形 明治33年鉄道唱歌



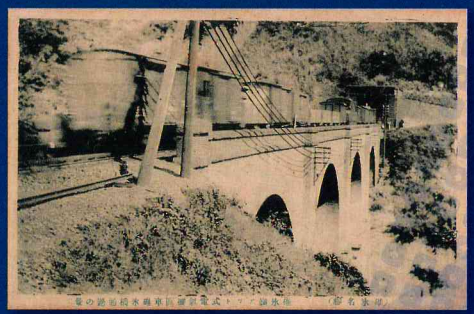
駅頭アーチ（昭和９年）







鉄道荷札



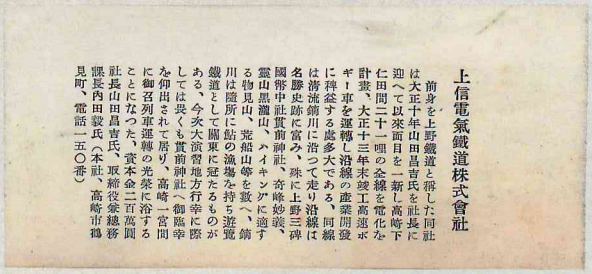
（碓氷名勝）碓氷嶺アプト式電気機関車碓氷橋通過の景

誤　市公会堂前アーチ（昭和９年）　正　市公会堂前アーチ（昭和６年）
　　高崎駅頭アーチ　（昭和９年）　　高崎駅頭アーチ　（昭和６年）

上信電気鉄道株式会社

（昭和９年ごろ）





上信電氣鐵道株式會社

前身を上野鐵道と稱した同社は大正十年山田昌吉氏を社長に迎へて以來面目を一新し高崎下仁田間二十一哩の全線を電化な計畫、大正十三年末竣工高速ボギー車を運轉し沿線の産業開發に裨益する處多大である、同線は名勝史跡に富み、殊に上野三碑國幣中社貫前神社、奇峰妙義、靈山黒瀧山、ハイキングに適する物見山、荒船山等を數へ、鏑川は隨所に鮎の漁場を持ち遊覽鐵道として關東に冠たるものがある、今次大演習地方行幸に際しては畏くも貫前神社へ御臨幸を仰出されて居り、高崎一宮間に御召列車運轉の光榮に浴することになつた、資本金二百萬圓

社長山田昌吉氏、取締役兼總務課長内田毅氏（本社、高崎市鶴見町、電話一五〇番）

上信電氣鐵道株式會社

前身を上野鐵道と稱した同社は大正十年山田昌吉氏を社長に迎へて以來面目を一新し高崎下仁田間二十一哩の全線を電化を計畫、大正十三年末竣工高速ボギー車を運轉し沿線の産業開發に裨益する處多大である、同線は清流鏑川に沿って走り沿線は名勝史跡に富み、殊に上野三碑國幣中社貫前神社、奇峰妙義、靈山黒瀧山、ハイキングに適する物見山、荒船山等を數へ、鏑川は隨所に鮎の漁場を持ち遊覽鐵道として關東に冠たるものがある、今次大演習地方行幸に際しては畏くも貫前神社へ御臨幸を仰出されて居り、高崎一宮間に御召列車運轉の光榮に浴することになつた、資本金二百萬圓

社長山田昌吉氏、取締役兼總務課長内田毅氏（本社、高崎市鶴見町、電話一五〇番）

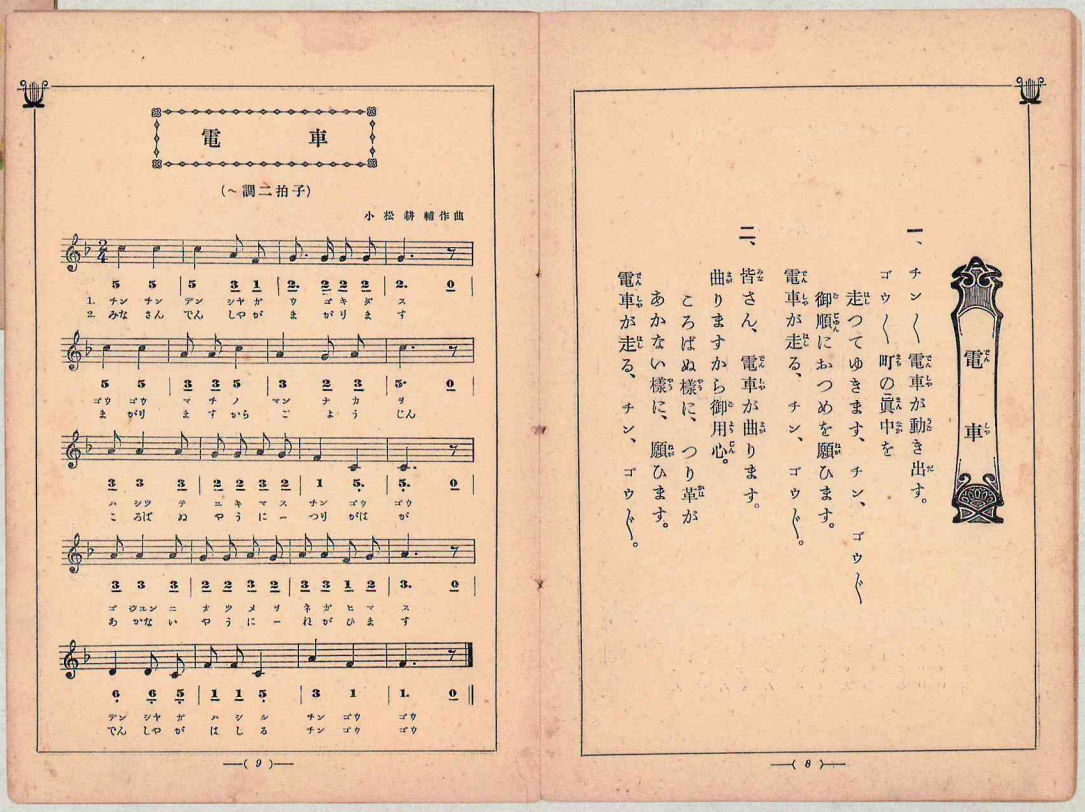


手拭い 上信電気鉄道



大正幼年唱歌第７集

（大正５年）



高崎市歴史民俗資料館



交通のご案内

〈バス利用〉

1. JR高崎駅西口（群馬中央バス）
   県立女子大行き約 30 分「慈眼寺裏」下車徒歩 3 分
2. JR高崎駅東口（群馬バス）日赤病院行き約 20 分「下滝西」下車徒歩 8 分
3. JR高崎駅東口（ぐるりん）群馬の森線「滝川郵便局入口」下車徒歩 15 分

〈自家用車利用〉

4. 関越自動車道（高崎 IC）5 分
5. 関越自動車道（高崎玉村スマート IC）3 分
6. 北関東自動車道（前橋南 IC）5 分

駐車場：大型バス 3 台／普通車 20 台

〒370-0027　群馬県高崎市上滝町 1058
Tel・Fax：027（352）1261
E-mail：rekimin@city.takasaki.gunma.jp